

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和6年3月11日(2024.3.11)

【公開番号】特開2024-28311(P2024-28311A)  
 【公開日】令和6年3月4日(2024.3.4)  
 【年通号数】公開公報(特許)2024-040  
 【出願番号】特願2023-218395(P2023-218395)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和6年2月29日(2024.2.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者に有利な特別遊技を実行可能な遊技機において、  
遊技者が操作可能な操作手段を備え、  
第1始動条件の成立、又は、第2始動条件の成立に基づいて変動演出を実行可能であり、  
前記変動演出の実行中に前記操作手段を振動させる振動演出を実行可能であり、  
前記変動演出の実行中に、前記特別遊技の実行を期待させる所定演出を実行可能であり、  
前記所定演出の実行中に、前記特別遊技が実行されるか否かを報知する当落演出を実行可能であり、

30

前記振動演出には、

操作有効期間中の操作に応じて実行される第1振動演出と、

前記操作有効期間を伴わずに実行される第2振動演出と、を含み、

前記第1振動演出に係る前記操作有効期間は、

前記当落演出が開始されるときに発生することが可能であると共に、前記操作手段が操作されたときに終了することが可能であり、

前記第2振動演出は、

前記当落演出よりも前の所定のタイミングで実行することが可能であり、

前記第1振動演出は、

前記当落演出において前記特別遊技が実行されることを報知するときに実行可能であり、

40

前記第2振動演出は、

前記第1始動条件の成立に基づく前記変動演出を実行するときの判定よりも前に実行される前記特別遊技の事前判定に応じて、前記特別遊技が実行される可能性があることを報知するときに実行可能であり、

前記当落演出よりも前の所定のタイミングで実行され前記特別遊技が実行される可能性があることを報知するときの前記第2振動演出における振動期間よりも、前記特別遊技が実行されることを報知する前記当落演出に伴う前記第1振動演出における振動期間の方が長くなるように実行可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

本開示の遊技機 1 は、遊技者に有利な特別遊技（大当たり遊技）を実行可能な遊技機において、遊技者が操作可能な操作手段（演出ボタン 17、演出レバー 24）を備え、第 1 始動条件の成立、又は、第 2 始動条件の成立に基づいて変動演出を実行可能であり、前記変動演出の実行中に前記操作手段を振動させる振動演出を実行可能であり、前記変動演出の実行中に、前記特別遊技の実行を期待させる所定演出（リーチ）を実行可能であり、前記所定演出の実行中に、前記特別遊技が実行されるか否かを報知する当落演出（決め演出）を実行可能であり、前記振動演出には、操作有効期間中の操作に応じて実行される第 1 振動演出（セリフ予告演出時、擬似連演出、発展演出時、カットイン演出時、決め演出時などの振動演出）と、前記操作有効期間を伴わずに実行される第 2 振動演出（先読み振動演出、ステップアップ予告演出時、図柄揃い時、c 図柄揃い時等の振動演出）と、を含み、前記第 1 振動演出に係る前記操作有効期間は、前記当落演出が開始されるときに発生することが可能であると共に、前記操作手段が操作されたときに終了することが可能であり、前記第 2 振動演出は、前記当落演出よりも前の所定のタイミング（リーチ前演出中等）で実行することが可能であり、前記第 1 振動演出は、前記当落演出において前記特別遊技が実行されることを報知するときに実行可能であり、前記第 2 振動演出（先読み振動演出）は、前記第 1 始動条件の成立に基づく前記変動演出を実行するときの判定よりも前に実行される前記特別遊技の事前判定に応じて、前記特別遊技が実行される可能性があることを報知するときに実行可能であり、前記当落演出よりも前の所定のタイミングで実行され前記特別遊技が実行される可能性があることを報知するときの前記第 2 振動演出における振動期間よりも、前記特別遊技が実行されることを報知する前記当落演出に伴う前記第 1 振動演出における振動期間の方が長くなるように実行可能であることを特徴とする。

10

20

30

40

50